

OJI HALL New Year Special Concert
MARO World Vol.58 by Fuminori maro Shinozaki & MARO Company

MARO World

Vol.58

国境を
越える願い。

王子ホール ニューイヤー・スペシャルコンサート
MAROワールド Vol.58 by 篠崎“まる”史紀 & MAROカンパニー ～セレナード～

2027

1/9

17:00開演
土 16:00開場

1/10

14:00開演
日 13:00開場

全席指定 各¥9,500

ドヴォルザーク：セレナード ホ長調 Op.22, B52

フックス：セレナード 第1番 ニ長調 Op.9

チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 Op.48

Antonín Dvořák: Serenade in E major, Op.22, B52

Robert Fuchs: Serenade No.1 in D Major, Op.9

Peter Tchaikovsky: Serenade for Strings in C major, Op.48

ヴァイオリン

篠崎“まる”史紀

MAROカンパニー

ヴァイオリン

石原悠企 倉富亮太 小林孝成 杉山和駿
東條太河 戸澤哲夫 松木翔太郎 水谷 晃

ヴィオラ

佐々木 亮 鈴木康浩 中村翔太郎

チェロ

伊藤文嗣 藤原秀章 水野優也

コントラバス

菅沼希望

OJI HALL 2026.9.26(土)12:00発売 王子ホールチケットセンター 03-3567-9990



王子ホールが、“まろ”の愛称で親しまれているヴァイオリニスト、篠崎史紀と創る音楽の社交場“MAROワールド”第58回は、MAROカンパニーの精鋭たちが年に一度集うニューイヤー・コンサート。1年間、ボヘミアの作曲家に拘った集大成となるドヴォルザーク、“セレナード屋”のあだ名を持つオーストリアのフックス、そして一年の始まりに欠かせないチャイコフスキーのセレナードに、MAROカンの平和への願いを乗せてお届けします。

篠崎“まろ”史紀 (ヴァイオリン) Fuminori maro Shinozaki (Violin)

北九州市出身。愛称“まろ”。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍し、2025年3月、惜しまれながら退団した。96年に東京ジュニアオーケストラを立ち上げ、以来後進の育成に力を注いでいる。04年より王子ホールでスタートしたシリーズ『MAROワールド』から弦楽合奏団「MAROカンパニー」が結成され、これらの功績により、「2020年度 第33回 ミュージック・ペンクラブ音楽賞」受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、01年福岡県文化賞、14年有馬賞受賞。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員、北九州文化大使、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー、リーデンローズ音楽大使、(一社) Music Force 理事長。初の絵本「おんがくはまほう」(リトルモア)、エッセイ「音楽が人智を超える瞬間」(ポプラ社)が刊行されるなど、多方面で活躍している。



石原悠企 (ヴァイオリン) Yuki Ishihara (Violin)

読売日本交響楽団 首席第2ヴァイオリン奏者。第9回スウェーデン国際デュオ・コンクール第1位、第2回ベートーヴェン国際室内楽コンクール特別賞、ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクール2013第1位他、国内外のコンクールにて多数受賞。第36回霧島国際音楽祭にて2つの音楽祭賞と音楽監督賞を受賞。ベルリン芸術大学ヴァイオリン科学士課程・修士課程を共に最優秀で修了。その後、同大学指揮科に在籍。バイエルン放送交響楽団オーケストラ・アカデミー修了。



倉富亮太 (ヴァイオリン) Ryota Kuratomi (Violin)

NHK交響楽団次席ヴァイオリン奏者。リビッツァー国際コンクール第2位(最高位)併せて特別賞受賞、シゲティ国際コンクール入賞など受賞。公益財団法人ロームミュージックファンデーション2016年度奨学生。東京藝術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業し、在学中に安宅賞等受賞。同大学修士課程修了。2022年に五十嵐紅トリオ(クラシックギター・五十嵐紅・ヴァイオリン・倉富亮太、チェロ・広田勇樹)を結成する。全国で年間40公演以上を行い、年間観客動員数は1万人を超える。日本大学管弦楽団、東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。



小林吉成 (ヴァイオリン) Issey Kobayashi (Violin)

東京藝術大学、同大学院を卒業・修了し、ドイツ・ベルリン芸術大学大学院Master課程修了。Gyrfas Competition 2019(ベルリン) 最高位、青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール、松方音楽賞他、入賞受賞多数。ロームミュージックファンデーション明治安田QOL文化財団など奨学生。国内外の音楽祭への出演をはじめ、ソリストとして東響、読響、PACオーケストラなどと共演。現在、東京交響楽団第1コンサートマスター。王子ホールのレジデント「ステラ・トリオ」メンバー。



杉山和駿 (ヴァイオリン) Takatoshi Sugiyama (Violin)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。卒業時にアカンサス音楽賞受賞。第69回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。日本センチュリー交響楽団、藝大フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭等にも出演。これまでに篠崎史紀、徳永二男、漆原朝子等に師事。2019年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。現在、群馬交響楽団ヴァイオリン奏者。



東條太河 (ヴァイオリン) Taiga Tojo (Violin)

メニューン国際コンクール3位。日本音楽コンクール入選。ザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学、ピエール・アモイヤルに師事。帰国後、東京藝術大学附属高等学校及び同大学を卒業。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。サントリーホール室内楽アカデミーフェロー。2022年度ロームミュージックファンデーション奨学生及び松尾学術振興財団奨学生。これまでに竹原久美子、原田幸一郎、漆原朝子、松原勝也、レジス・バスキエに師事。現在、NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。



戸澤哲夫 (ヴァイオリン) Tetsuo Tozawa (Violin)

東京藝術大学大学院修士課程修了。大学院在学中より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスターに就任。現在に至る。2001年モルゴア・カルテットに加入し、06年にショスタコーヴィチ生誕100周年記念特別企画として、3日間で弦楽四重奏曲全15曲を完奏する。10年より日本大学芸術学部非常勤講師。



松本翔太郎 (ヴァイオリン) Shotaro Matsuki (Violin)

第94回日本音楽コンクール第2位、第75回全日本学生音楽コンクールバイオリン部門中学生の部 東京大会第1位、全国大会第2位。ミュージック・アカデミー in みやざき優秀賞受賞。2022Leonid Kogan International Competition for Young Violinists 第1位。Kronberg Academy Violin&Viola Masterclassにて Manfred Grommek Preis受賞。2026年度宗次エンジェル基金日本演奏連盟奨学生。現在桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)高校3年生特待生として在学中。



水谷晃 (ヴァイオリン) Akira Mizutani (Violin)

大分市生まれ。桐朋学園大学を首席で卒業。在学中Verus String Quartetを結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位入賞。2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。その後、東京交響楽団を経て、現在、東京都交響楽団コンサートマスターとオーケストラ・アンサンブル金沢客員コンサートマスターを兼任。ゆふいん音楽祭音楽監督を務める他、木曽音楽祭を含む各地の音楽祭にも出演。桐朋学園大学講師。



佐々木 亮 (ヴィオラ) Ryo Sasaki (Viola)

東京藝術大学およびジュリアード音楽院卒業。留学中にヴィオラに魅せられヴァイオリンから転向。米国各地での演奏活動を経て2004年にNHK交響楽団に入団し、08年より首席奏者。現在桐朋学園、洗足学園、東京藝大附属高校にて後進の指導にもあたっている。24年より、今井信子、アントワン・タメスティを継ぎ、ヴィオラスペースのプログラミング・ディレクターを務めている。



鈴木康浩 (ヴィオラ) Yasuhiro Suzuki (Viola)

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴァイオリンからヴィオラに転向。第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位他、受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで学び、ベルリン・フィル契約団員を経て04年に帰国。王子ホールでは「銀座ぶらっと」シリーズ「お昼の名曲サロン」の顔でもある。



中村翔太郎 (ヴィオラ) Shotaro Nakamura (Viola)

NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者。4歳よりヴァイオリンを始め、東京藝大附属高校入学を機にヴィオラに転向。東京藝大卒業。2010年、第15回コンセル・マロニエ21弦楽器部門第1位。東京ジュニアオーケストラソサエティ講師。藝大同期による弦楽アンサンブル「TGS」代表。Alto de Campagne(ヴィオラ四重奏)メンバー。



伊藤文嗣 (チェロ) Fumitsugu Ito (Cello)

東京交響楽団ソロ首席チェロ奏者。東京藝術大学を経て、同大学大学院修士課程修了。チェロを山崎伸子、河野文昭、藤森亮一に師事。これまでに、紀尾井ホール室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラなど多数出演。ソリストとして、東京交響楽団とJ・ノット指揮のもと「R. シュトラウス：ドン・キホーテ」「ブーレーズ：メサジェスキ」他、多数共演。また、客演首席奏者として国内主要オーケストラに招かれている。



藤原秀章 (チェロ) Hideaki Fujiwara (Cello)

南アルプス市出身。京都市交響楽団特別首席チェロ奏者。ピバホールチェロコンクール第1位、及び聴衆賞。日本音楽コンクール・チェロ部門第2位。リヨン国際室内楽コンクール・ピアノトリオ部門第3位、及び委嘱作品演奏賞。東京藝術大学附属音楽高等学校、学士課程を経て、大学院修士課程を修了。ベルリン芸術大学マスター、及びKonzertexamen、ハンス・アイスラー音楽大学マスター室内楽科修了。ベルリン放送交響楽団アカデミーに於いても研鑽を積む。



水野優也 (チェロ) Yuya Mizuno (Cello)

第76回ブラハの春国際音楽コンクール・チェロ部門にて、アジア人として初の優勝を果たし、あわせて4つの特別賞を受賞。第89回日本音楽コンクール第1位、第13回東京音楽コンクール第1位、2024年エンリコ・マイナルディコンクール第1位など、国内外の主要コンクールで高い評価を得る。桐朋学園大、リスト音楽院、モーツァルト音楽大学にて研鑽を積む。現在ジャパン・ナショナル・オーケストラのメンバーとしても活動中。



菅沼希望 (コントラバス) Nozomi Suganuma (Double Bass)

東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程在学中に渡独し、フランクフルト音楽・舞台芸術大学にて学ぶ。大学在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し入団。これまでに池松 宏、C. Schmidt、永島義男、西山真二、村上満志、山谷明恵、吉田 秀に師事。新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。



Dedicated to Sustainability



TOKYO ART & LIVE CITY

王子ホールは「東京アート&ライブシティ構想実行委員会」に参加しています。

●チケットのお問い合わせ・申し込みは

王子ホール
チケットセンター

03-3567-9990
<https://www.ojihall.jp/>

●発売日は、電話とインターネットのみで受け付けいたします。

※発売日は1申し込みにつき1公演4枚までの枚数制限がございます。

※即日完売の場合もございますので、ご了承ください。

※通常営業日：月曜～金曜10:00～18:00(発売日以外の土曜・日曜・祝日は休業)。

■CNプレイガイド:0570-08-9990 <https://www.cnplayguide.com/>

■ローソンチケット:0570-000-407 <https://l-tike.com/>(Lコード33429)

■e+イープラス: <https://eplus.jp/oji/>

《発売日》2026年9月26日(土)
12:00から発売します。

●お席は全席指定です。●楽章間のご入場はできません。
●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮下さい。●公演内容については一部変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

ACCESS

- 地下鉄銀座 A12出口より 徒歩 1分
- 地下鉄東銀座駅 A2出口より 徒歩 2分
- 地下鉄銀座一丁目駅 8出口より 徒歩 5分
- JR有楽町駅 銀座口より 徒歩 7分



OJI HALL
A member of the OJI Group

銀座 王子ホール 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-7-5

このチラシは王子製紙 OK トップコートマット N 菊判76.5kg を使用しています。
イラスト：保坂真紀

